訓練などに使用する場合の注意

- 1. 避難訓練等に使用する場合は、点検業者またはメーカー等、消防設備士、 消防設備点検資格者等に立ち会ってもらうこと。
- 降下訓練は必ず上部1名以上、下部出口に1名以上の要員を配置すること。 下部出口の要員は展張した時、袋本体が、正常に展張されていることを確認をすること。(袋全体によじれ等がないことを確認する。)
 降下訓練時は、必ず1人づつ降下し、脱出完了後、次の人が降下すること。
- 下部出口の要員は降下者が出口から安全に脱出するように必ず補助すること
- 降下時には、摩擦によりすり傷等を受ける場合もあるので長袖、長ズボン、手袋等 を着用し、ハイヒール等のかかとのとがった履物で降下しないこと。
- 降下時に足を急に広げたり摩擦大きい履物で降下すると回転することがあります。
- 訓練後は必ず元の状態に格納し、使用時に容易に展張できる状態にしておくこと。

避難器具の点検は有資格者によって、年2回行うように、法令で義務付けられています。

- 地上要員は張設ローブを最大の長さまでゆるめ、フックを固定環よりはずしフタをする。
 張設ローブを受布にくるみ込み出口部マットを二つ折りにしてくるみ込み、袋本体出口
 無左右に付いているマジックテープで固定させる。

- 1. 取付具内のステップをもとに勧める。
- が折りたたまれた状態で (2段アームの伸張するものでベルトの付いている <a>↑ 注意 ● 使用時に容易に展張できるように、正常に格納する。
- ⚠ 注意 ● アームを伸長したままの状態で入口金具を回転すると収納ができません。 ● 入口金具を折りたたむ時、手、衣服等をはさまないこと。手や腕をケ ガすることがあります。
- 3. 入口金具を取付具に納めた後、袋本体を引き上げる。
- ▲ 警告-●引き上げる時、袋本体の自量でもどされて、転落等のおそれがありま
- ⚠ 注意-● 袋本体を引き上げる時サッシの角、開閉用ストッパー等の障害物に引 っ掛けないようにすること。

安全上のご注意

- ◆この製品を安全で正しくご使用いただくために、ご使用になる前に この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。 ◆ここに示した注意事項は、安全に関する内容を記載していますので必ず守ってください。 ◆表示と意味は、次のようになっています。

※物的損害とは、家屋・財産等にかかわる損害をいいます。

表示の意味



** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が 重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が 傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示 します。

⚠ 注意-●地上要員は袋本体を引き上げる時、障害物等に引っ掛からないよう。

2、仲長されているものは、入口枠を先端より内部から難番に手前に折りたたみ、アーム 4、袋本体を引き上げた後、上部袋入口部から、つづら折りに入口金具の内部に格納する。

- 5. 下部出口部を上にのせてパンドで入口金具、袋本体を締めて、誘導網をもつれない ように直径25㎝~30㎝位の輪に東ねて下部出口部の上にのせる。
- 格納箱の分解型のものは、前板、上ぶたをはめ込み止め金具を止める。手前引き型の場合は、元の位置に格納箱を戻す。
- ↑ 注意-●正常に収納されていない場合は非常時に使用できない場合があります ので正しく収納してください。
 - ●止め金具が止まっていることを確認すること。
 - 格納箱の上や周囲には、使用時に障害になるような物を置かないこと。

●お問い合せは・・・・・

ORIRO オリロー株式会社

URL: http://www.oriro.co.jp e-mail: oriro@oriro.co.jp

本	社	〒112-0001	東京都文京区白山4-25-6
	1		TEL. 03-3814-7744 FAX. 03-3813-2909
札幌	支店	∓ 060-0008	北海道札幌市中央区北8条西24-1-3
			TEL. 011-640-7744 FAX. 011-615-8299
東北	支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町1-16-6
			TEL. 022-208-7744 FAX. 022-208-7747
北関東	支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見4-28-35 アークパレス1F
			TEL. 049-279-7744 FAX. 049-279-7745
横浜	支 店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡2-17-24
			TEL. 045-277-7744 FAX. 045-277-7745
名古屋	支店	∓ 454-0921	愛知県名古屋市中川区中郷3-383
			TEL. 052-352-7744 FAX. 052-352-7775
浜松出	張所	∓ 435-0014	静岡県浜松市東区大蒲町87-12 メゾンオルセー101号室
			TEL. 053-541-7744 FAX. 053-541-7745
大阪	支 店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天2-14-24
			TEL. 06-6572-7744 FAX. 06-6574-2994
九州	支 店	∓ 815-0031	福岡県福岡市南区清水3-9-21
			TEL. 092-551-7744 FAX. 092-511-6555
新潟営	業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724
			TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949
メンテナン	ノス部	〒112-0001	東京都文京区白山5-1-3-7F
			TEL. 03-3815-7744 FAX. 03-3815-7745
埼玉	工場	〒355-0324	埼玉県比企郡小川町青山745
			TEL. 0493-72-7744 FAX. 0493-74-0869
新潟	□場	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724
			TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949

●本製品は予告なく変更することがあります

2018.07 改訂版



ORIRO 斜降式救助袋

取扱説明書

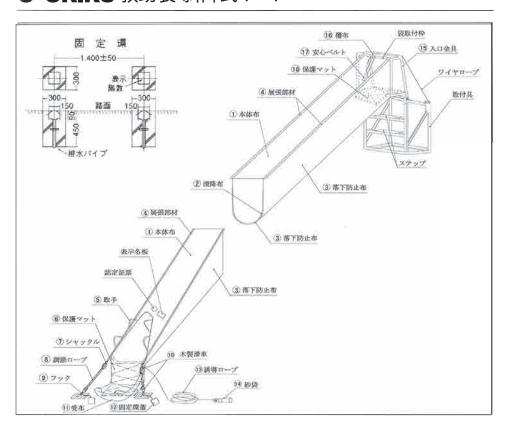


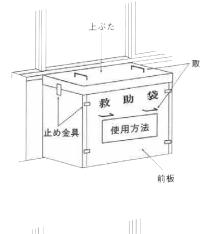
一般財団法人 日本消防設備安全センター 認定番号 ふS-005-1号(F-1)

構造と各部の名前

格納箱

● ORIRO 救助袋 斜降式 F-1







票	準	仕	秉)	

1775	干 1工1米/					
名		称	品	名	規	格(KN)
袋	袋本(体 布	ポリエステル4号		引張強さ	タテ、ヨコ1.0KN/3cm 以上
本	落下防	止 布	ポリエステル4・5号		引張強さ	タテ、ヨコ1.0KN/3cm 以上
体	受布・覆	い布	ポリエステル4・5号		引張強さ	タテ、ヨコ1.0KN/3cm 以上
74	展張音	部 材	ポリエステルベルト		引張強さ	14.5KN×2本
取					L-50×5	50×6
	取付	具	鋼	材	L-65×6	55×6
付					□-50×	50×2.3
金					27.2φ×	2.8
具	入口:	金 具	一般構造用	鋼管	34.0¢×3	3.2
					42.7φ×3	3.5
縫		糸	ナイロン、ポリエステル	V	#5、#2	
誘	導口 -	ー プ	PPマルチフィラメント		16打、6¢	カーオレンジ
吊	りロ -	ー プ	ワイヤロープ		6φ、8φ、	10φ、12φ
保	護マ	ット	フェルト		厚さ10mm	以上
取		手	ナイロンベルト		50×2.0	
下	部 支 持	装 置	滑車、ビニロンロープ		木製1車、	2車、ロープ10φ
格	鋼	板	厚さ1.2mm		粉体焼付	塗装仕上げ及びステンレス
納	文	字			PVC(ポリ	塩化ビニル)
箱	取	手	亜鉛合金 サチライトクロム	メッキ仕上		
[2	定	環	鋼板及びステンレス		150×150	0

種別	袋 長	上部荷重KN	下部荷重KN	付加荷重KN	荷重方向
	袋長が15m以下のもの	3.75KN	2.85KN	入口金具	上部 俯角70度 下部
	袋長が15mを越え30m以下のもの	5.85KN	5.25KN		
	袋長が30mを越え40m以下のもの	7.35KN	6.45KN	人口並具	
	袋長が40mを越えるもの	8.70KN	7.50KN		仰角25度

種	別	袋 長	固定環等の引張荷重KN	荷重方向(下部支持装置の展張方向)
斜降式		袋長が15m以下のもの	2.85KN	25度
		袋長が15mを越え30m以下のもの	5.25KN	25度
救助袋	功 袋 袋長が30mを越え40m以下のもの		6.45KN	25度
		袋長が40mを越えるもの	7.50KN	25度

◆◆◆ 斜降式 ◆◆◆

1. **ORIRO** 救助袋 F - 1

災害時の避難を目的として、上部および下部の操作にて取付口から地上の避難場所へ おおむね45度の傾斜に展張した、袋の内部を降下する避難器具です。

2. F-1の構造

袋本体は、おおむね45度の傾斜に展張する、半円形の筒状の袋本体は、滑り面を二 重構造とし、さらに袋本体上部に2本の展張部材(ベルト)を縫着させ、袋本体に加 わる荷重を保持する構造になっています。

3. **ORIRO** 救助袋 F-1 の仕様 (表示)

袋本体の出口部付近に貼付けされています。

①は(一財)日本消防設備安全センターの個別認定合格の証票です。



- ②-当社の商標登録名です。
- ③-斜降式救助袋の種別登録記号です。
- ④-器具の設置されている階数の表示です。

製造年月

⑤-降下する方向です。

2

(3)

6

(7)

- ⑥-製造された年月の表示です。
- ⑦-斜降式救助袋の認定番号です。
- ⑧-設置されている個所の袋本体の全長です。
- ⑨-製造された製品の製造番号です。(お問い合わせの際は製造番号をお知らせくだ

石川商工株式会社

埼玉県草加市青柳1丁目6番23号 電話 048(935)1507(代)

- ⑩-斜降式救助袋の登録型式記号です。
- ⑪-製造者の表示です。

斜降式操作方法(上部操作)

①格納箱を取り外す (分解型)



- . 上ぶたの両側についている止め金具をはずし①、取手を持って上ぶたを取りはずす。②
- って上ふたで取りは99。 ® 前板の両側についている止め金具をはずし®、取手を持っ て前板を取りはずす。 ®
- 救助袋の取り付けてある開口部の窓、カーテン、ブライン ド等を完全に開放する。
- ⚠ 注意 ● 格納箱の止め金具に指をはさまれないようにすること。指等に、ケガをする怖れがあります。 (手前引き型は、取手を持って手前に引き、取りのぞく。)
- ____ 注意-●手前に強く引くと倒れることがあります。

②バンドを引き、砂袋を投げる



- 袋本体を締めてあるパンドを手前に引きパンドを解く。① 誘導網の先端に付いている砂袋を地上に投下する。②
- ⚠ 注意-●誘導網の輪がもつれてないか確認する。
 - 砂装を投下する時、ひさしや、賭下の屋根等の障害物がある場合は、引っ掛からないようにすること。砂装が途中で引っ掛かると袋の展張ができません。
 地上に人がいないことを確認すること。地上に人がいる場合は、注意して砂袋を投下すること。

③袋本体を降ろす



- 1. 袋本体を先端から徐々に地上に降ろす。①
- ▲ 注意-● 袋本体を降下させる時、障害物などにより途 中で静止した場合は袋本体を引き上げ、降ろ し直すこと。
 - 接本体を降下させる時にサッシの角、止め金 具等の障害物に引っ掛からないようにすること。袋本体が損傷を受けることがあります。
- ▲ 警告-● 袋本体が途中から自重で急速に落下すること がありますので、手や衣服等を巻き込まれ ないこと。転落等のおそれがあります。

④入口金具を回転させる



- ・ 埃本体が降下し終ったことを確認する。①
 ・ 入口金具の両側のワイヤローブ2本を持つか③、または入口金具の下端貼分のバイブを持って関転させる。②
 ・ 入口金具の2段。3段とブームを伸長する金具は、折りたたんだままの状態にて回転させる。②
- ▲ 注意-●入口金具を回転する時、指や衣服等を巻き込まれないこと。ケガの怖れがあります。
 ●伸張させた状態で回転させると開口部上端に当り回転できないことがあるのでしないこと。
- 入口金具が一定の所で静止した状態で両側のワイヤローブ 入口金貝の一定の所で静止した状態で同画のワイヤローク 2本が正常に展集されているか確認する。④ 2段、3段とアームを伸長する金貝で、入口金貝の上端部 にバンドの付いているものは、バンドを引く、入口金貝の 内部よりアーム支持枠と特長させ全体が正常に伸長されて いるか、内側、外側より確認する。
- ↑ 注意-●正常に伸長されていないと降下できません。

降下方法

①降下する



- 取付金具に設けられているステップを手前に倒す。① 地上の合図により入口枠の上端を持って足より入り、正面に ある安心ベルトを持って両足を揃えて降下姿勢をとる。②
- ▲ 警告-●降下者は、頭から袋の中に絶対には入らないこ と。頭から地上に着地するため大変危険です。 ●袋の中にいきおいよく入らないこと。加速がつ き出口で飛び出すことがあります。
- / 注意-●入口金具の入口部で立ち上がらないこと。立ち上 がると開口部の枠等で頭を打つことがあります。

②降下姿勢



- 両手を上にするか、または胸の上において自然体の姿勢で、 かかとをやや上げて青および腰部で滑り降りる。
- ▲ 注意-●降下者は、腕や足を急に広げたり突っ張った りすると、急ブレーキがかかり、すり傷等を 受ける怖れがあるのでしないこと。
 - ●出口部では、両足が地面に着くまで絶対に立
 - ち上がらないこと。 ●着地前に立ち上がり、左右に脱出すると転倒
 - する怖れがあります。 ●出口部では、正面に向かって脱出し、できる だけ横方向には行かないこと。

③地上要員



地上要員は、出口部の受布を持ち、降下者が出口部より飛 び出さないように受け止める。 受布の注意表示布による。

↑ 注意 - ● 地上要員が受布を持っていないと降下者が飛 び出す場合があります。

操作方法(下部操作)

地上の固定環にセットする(地上要員)



認した上で固定環のフタの階数表示と照合しフタ

1. 地上要員は、降下してきた救助袋の階数表示を確

- ⚠ 注意 ● 階数表示を間違えると正常な展張が できません。
- 袋本体出口部から接続されている、張設ローブ先 端の滑車(2車)に付いているフックを取手より はずし、袋本体がよじれていないか確認の上、左 右のフックを見極めて固定環に1個づつ掛ける。
- ⚠ 注意-● 固定環にフックを間違えて掛けると、 袋本体にねじれが生じ正常な展張が できなくなります。

3. 下部支持装置の張設ローブの先端のフックを固定

環に引掛け、張設ローブの末端を滑車間のローブ



3

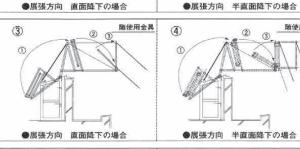
- の中を通して①、地上高約50cm位の高さになるよ うに充分に引き、ロープを逆方向に引張って固定 する. ② 袋本体出口部と地上面との高さが50cm位に張設さ れたら、逆方向に引きローブの間に食い込ませ固 定する。②
- 4. 袋本体の出口部に腰を下ろし荷重を掛け、袋本体 が左右均等に展張されているか確認する。左右が 均等でない場合は均等になるよう調整し、ローブ
- を固定する。② ↑ 注意-● 袋本体が左右均等に展張されていない と、片だるみが生じ隆下しにくくなり ます。
 - 5. 正常に展張されたら受布を持ち、上階の降下者に 降下準備完了の合図を送ります。③
 - ▲ 警告-●固定環にフックが正常に掛かってい ない場合や張設ロープが充分に固定 されていないと、落下等の原因にな るので充分に確認すること。

取付金具の主な種類





階使用金具





/ 注意喚起 指・衣類のはさみ込み注意